

新年用キクの初出荷に向け積み込み作業に精を出す関係者＝14日午後8時ごろ、那覇空港



## 沖縄の色、香り 全国へ キク輸送便 臨時



新年を彩る正月用キク類の競り売りが15、23日に全国で最盛期を迎えるのを前に、県花卉園芸農業協同組合（太陽の花・外間勝嘉組合長）と日本航空（JAL）は15日午前2時ごろ、県産キクを県外へ輸送する真夜中の臨時便を飛ばす。14日午後8時ごろ、那覇空港でキクの積み込み作業があった。

第1便は、大キクやスプレーキクなど約10トを出荷。期間中、那覇―羽田間の深夜臨時便を6便運航し、全部で750ト程度を輸送する予定。

外間組合長は「今年は、正月を自宅でゆつくり過ごす人が多いと聞いていて、正月用のキクの販売も昨年より伸びると見込んでいる」と期待を込めている。